3．使用しないという決定を行った固定資産に関する事項

当事業年度において、以下の資産について減損処理いたしました。

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用途	種類	場所	帳簿価額
福利厚生施設	土地	徳島県鳴門市	20,200,000円

⑵　減損の認識に至った経緯

老朽化、利用ニーズの変化による利用率の低下及び多額の改修経費を要し、また利用ニーズにも合致しないため、平成24年12月以降使用しないという決定を行いました。

⑶　減損額のうち損益計算書に計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

用途	種類	場所	減損額
福利厚生施設	土地	徳島県鳴門市	14,395,000円

⑷　回収可能サービス価額の算定方法

不動産鑑定士の鑑定評価額から建物取り壊し費用を差し引いた正味売却価額により算定しております。

4．固定資産の市場価格が著しく下落した固定資産に関する事項

当事業年度において、以下の資産について減損処理いたしました。

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

固定資産の用途	種類	場所	帳簿価額
研究施設	土地	徳島県鳴門市	54,900,000円

⑵　減損の認識に至った経緯

市場価格が著しく下落したため減損を認識しました。

⑶　減損額のうち損益計算書に計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

固定資産の用途	種類	場所	減損額
研究施設	土地	徳島県鳴門市	34,100,000円

⑷　回収可能サービス価額の算定方法

不動産鑑定士の鑑定評価による正味売却価額により算定しております。

（金融商品に関する注記）

1．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定し、資金調達については国立大学財務・経営センターからの借入れに限定しております。

資金運用にあたっては国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき、預金、国債及び政府保証債を保有しております。また、寄附により株式を取得しておりますが、寄附目的が本学の業務を不当に拘束することはありません。

未収附属病院収入は、債権管理要領に沿ってリスク管理を行っております。

国立大学財務・経営センター債務負担金及び長期借入金の使途は大学病院の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施しております。

2．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：円）

	貸借対照表計上額（※1）	時価（※1）	差額
⑴投資有価証券及び有価証券 満期保有目的の債券	8,501,326,662	8,629,400,000	128,073,338
⑵破産更生債権等	30,290,734		
徴収不能引当金	△30,290,734		
	0	0	—
⑶現金及び預金	7,694,009,720	7,694,009,720	—
⑷未収附属病院収入	4,221,662,586	4,221,662,586	—
⑸国立大学財務・経営センター債務負担金	(12,298,463,864)	(12,996,510,990)	698,047,126
⑹長期借入金	(7,836,824,000)	(8,024,369,485)	187,545,485
⑺リース債務（※2）	(2,735,444,347)	(2,718,577,508)	△16,866,839
⑻未払金	(4,681,349,148)	(4,681,349,148)	—

（※1）負債に計上されているものについては、（　）で示しております。

（※2）貸借対照表上、一年超のリース債務は「長期未払金」に、一年以内のリース債務は「未払金」に含まれております。

（注1）金融商品の時価の算定方法

⑴投資有価証券及び有価証券

これらの時価については、取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

⑵破産更生債権等

破産更生債権等については、担保及び保証による回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価額をもって時価としております。

⑶現金及び預金、並びに⑷未収附属病院収入

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑸国立大学財務・経営センター債務負担金、⑹長期借入金及び⑺リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入又は、リース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

⑻未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（注2）非上場株式（貸借対照表計上額770,536,262円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「⑴投資有価証券及び有価証券」には含めておりません。